MITSUBISHI

0903874HJ7101

ハンドドライヤー ジェットタオル® 専用
自動ドア連動回路ボックス

形 名

JP-100RD 100V専用

据付工事説明書 販売店・工事店さま用

据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

この自動ドア連動回路ボックスは、ジェットタオルの運転と連動して自動ドアを開・閉させるための回路ボックスです。ここでは回路ボックスの取付けと結線を示します。ジェットタオルおよびヒータースタンド、ヒーターユニットの据付けについてはジェットタオルに同梱の取付工事説明書を参照してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

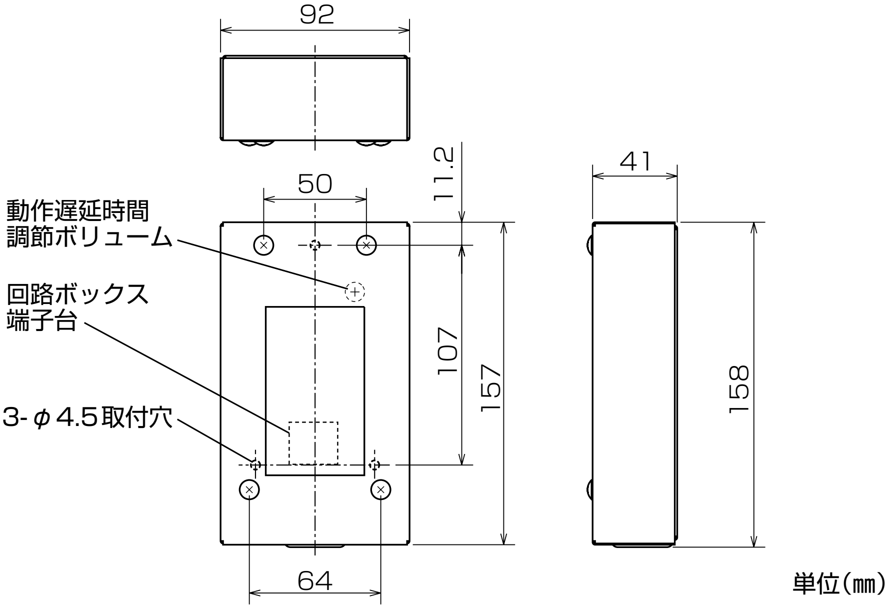
⚠ 警告 ― 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁 止	●**電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない** **また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない** （電源コードが破損し、火災、感電の原因となります）	指示に従い必ず行う	●**交流100Vを使用する** （間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります） ●**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って確実に行う** ●**回路ボックスの配線工事をする場合は、必ずジェットタオル本体の電源プラグを抜いて（専用配線の場合は、漏電しゃ断器を切って）から行う** （感電するおそれがあります）
分解禁止	●**改造や、必要以上の分解はしない** （火災、感電、けがの原因となります）		
風呂・シャワー室での使用禁止	●**浴室など湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない** （感電、故障の原因になります）		

⚠ 注意 ― 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

指示に従い必ず行う	●**据付けの際は手袋を着用する** （着用しないとけがをするおそれがあります）

各部のなまえと外形寸法図



付属部品

壁固定ネジ……………3本
コードクリップ………1個
信号線…………………1本
電源コード……………1本

適用機種

JT-SB形(スリムタイプ)
JT-WB形(ハイパワータイプ)
JT-KB形(カウンタータイプ)

据付け前のお願い

■据付場所が悪いと故障の原因になります。

■つぎのような場所には据付けないでください。

- 0℃未満になる場所
- 40℃以上になる場所
- 塩害地域
- 結露する場所
- 直接水がかかる場所
- 腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所
- 温泉施設

■手動スイッチを必ず取付けてください。 [5ページ参照]

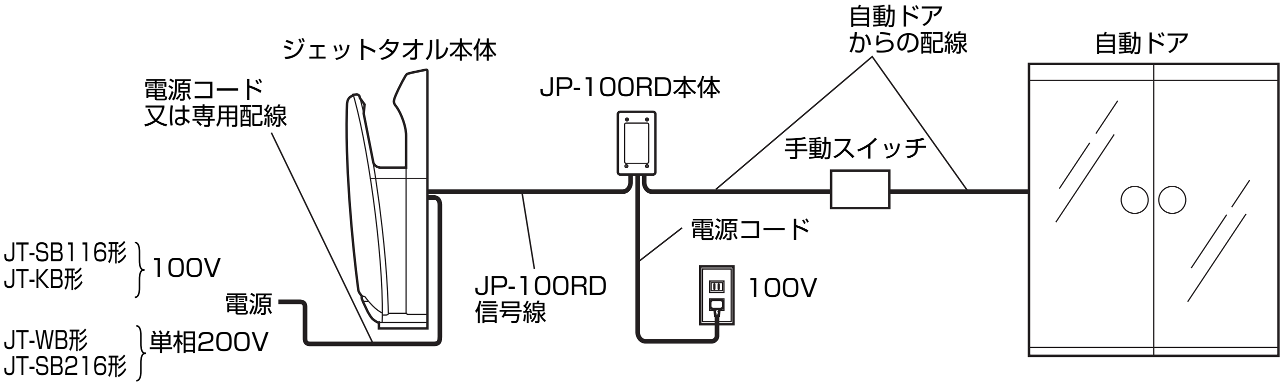
- 万一、ジェットタオルが故障したときに自動ドアを動作させるための手動スイッチを必ず取付けてください。

工事概要

詳細内容は参照ページで確認してください。

- ジェットタオルが既に設置してある場合はジェットタオル本体を一旦はずす。 [6～7ページ]

1. ジェットタオルの前パネルをはずす。（ジェットタオルに同梱の取付工事説明書を参照してください）
2. ジェットタオル背面から信号線（黒コネクター側）を挿入し、内部の専用コネクターと接続する。 [3～4ページ]
3. ジェットタオルを固定する。 [4ページ]
4. 回路ボックスを壁面に据付けて、配線する。 [5ページ]
   （信号線、電源コード、自動ドアからの配線・手動スイッチの取付け）



据付方法

機種によって配線方法が異なりますので対象機種を参照してください。

1

付属の信号線の接続と固定

1. 前パネルをはずす。（ジェットタオルの取付工事説明書参照）

2. ジェットタオル内部にあるコネクターについているコネクターキャップをはずす。

3. ジェットタオル背面の穴から付属の信号線を挿入する。

   ※機種によって配線方法が異なりますので対象機種のイラストを参照してください。

   〈コンセント用電源コードの場合〉
   一旦コードクリップをはずし、電源コードを左右にずらしてから信号線（黒いコネクターの方）を挿入します。このあとコンセント用電源コードは再びコードクリップで固定します。

   〈専用配線の場合〉
   先に信号線（黒いコネクターの方）を挿入し、その後専用配線を挿入します。

   ●信号線は水平に押し込んでください。

4. 挿入した信号線のコネクターと内部のコネクターを接続する。

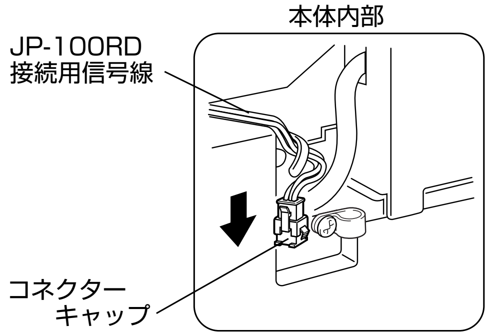
5. 信号線と電源コードを固定する。

   ●信号線の固定には付属のコードクリップを使用します。

   ● JT-SB 形の場合の信号線の固定は、回路ボックス下のネジを利用して付属のコードクリップで固定してください。

適用機種共通

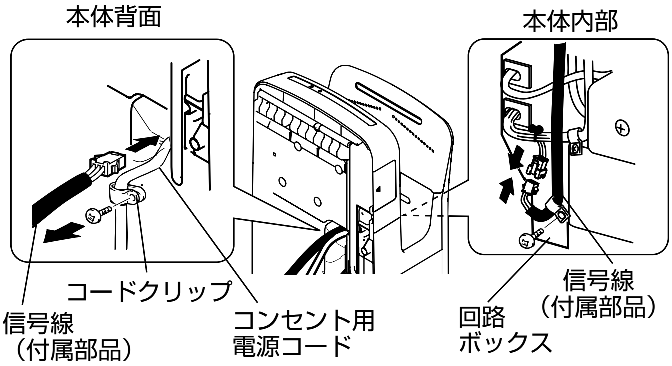
■コネクターキャップの取りはずし



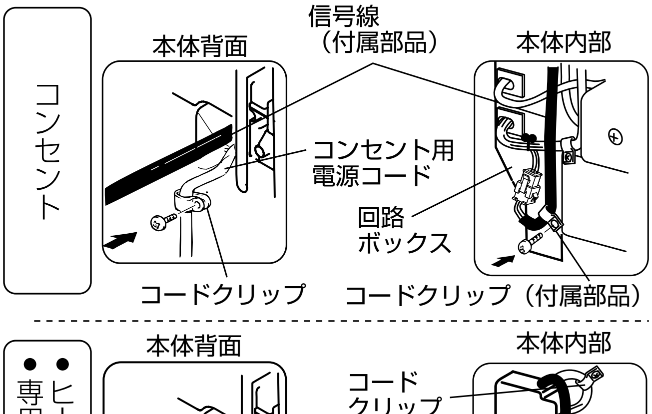
JT-SB形の場合

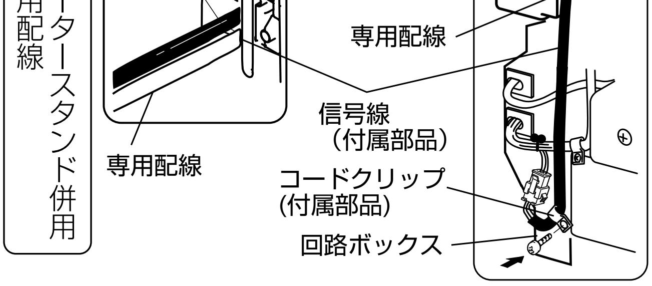
■信号線の挿入・接続のしかた

●コンセント用電源コードの場合



■信号線と電源コードの固定のしかた





据付方法　つづき

1

5. 信号線と電源コードを固定する。

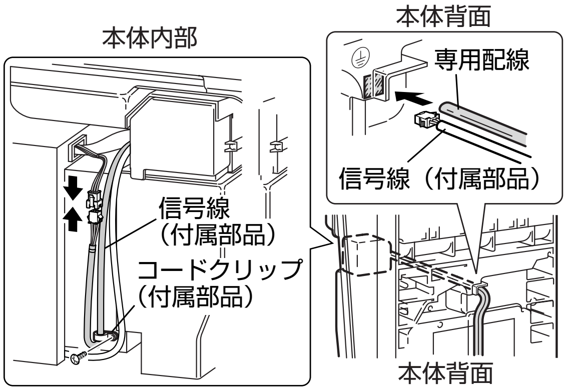
● 信号線の固定には付属のコードクリップを使用します。

● JT-WB形の場合の信号線の固定は、回路ボックス下のネジを利用して付属のコードクリップで固定してください。

● JT-KB形でコンセントの場合、信号線は本体内部で固定しますが、この位置に出荷時別のコードクリップがついています。付属のコードクリップにつけかえてください。

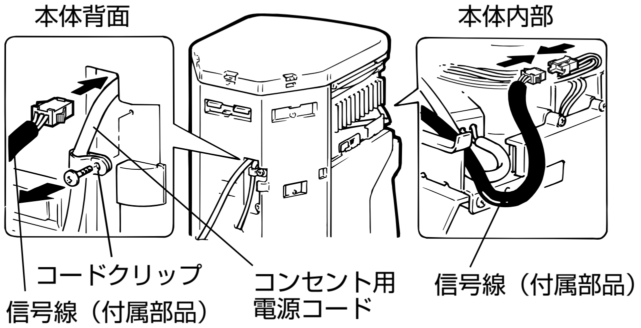
JT-WB形の場合

■信号線の挿入・接続・電源コードの固定のしかた

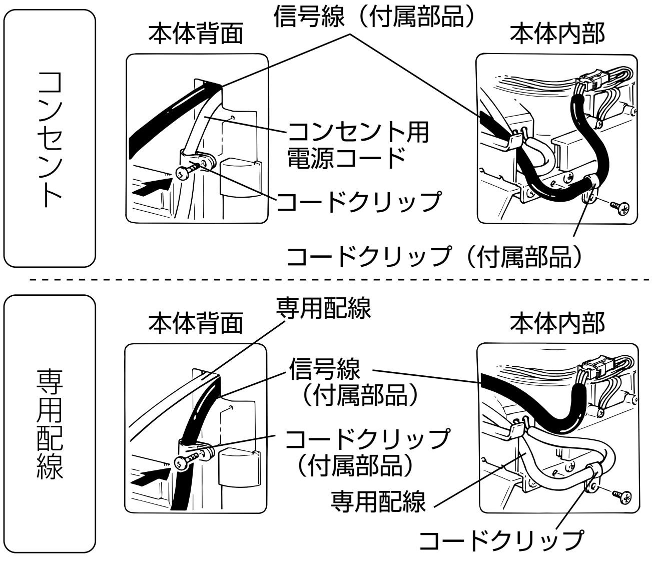


JT-KB形の場合

■信号線の挿入・接続のしかた



■信号線と電源コードの固定のしかた



2

ジェットタオルの固定

〔新設の場合〕

ジェットタオルに同梱の取付工事説明書に従って実施します。また、ジェットタオルスタンド（JP-26FS、JP-S10FS、JP-S21FS、JP-S06FS、JP-23FS）、ヒータースタンド（JP-110HS2、JP-210HS2、JP-310HS2）、ヒーターユニット(JP-110HU、JP-210HU)を併用させる場合はそれぞれの取付工事説明書に従って実施します。

〔既設の場合〕

取りはずしと逆の順序で固定します。[6～7ページ参照]

3

回路ボックスの接続と固定

1. ネジ４本をはずしてふたをはずす。

2. ボックス・板金ボックスを共締めで付属の壁固定ネジ（3本）で壁面に据付ける。

   - 板金ボックスは、信号線（約1.0m）の届く範囲で水のかからない場所にボックスの 上 表示面が上になるように据付けます。

3. 配線をする。

   (1) 付属の信号線をコードブッシュからボックス内に入れ、上側コネクターに差し込む。

   (2) 付属の電源コードをコードブッシュからボックス内に入れ、下側コネクターに差し込む。

   (3) 自動ドアからの配線も、コードブッシュから通して回路ボックス端子台に市販の圧着端子（丸型端子、先開型端子のM4ネジ用）を使用して接続する。

4. 配線の固定をする。

   (1) 配線をコードクリップで固定する。

   (2) 各配線をそれぞれスリットに差し込む。

お願い

- **信号線は切断したり延長したりしないでください。**
  電気用品安全法により禁止されています。
- **信号線を壁に固定するときは信号線を傷つけないように注意してください。**

5. ふたを取付ける。

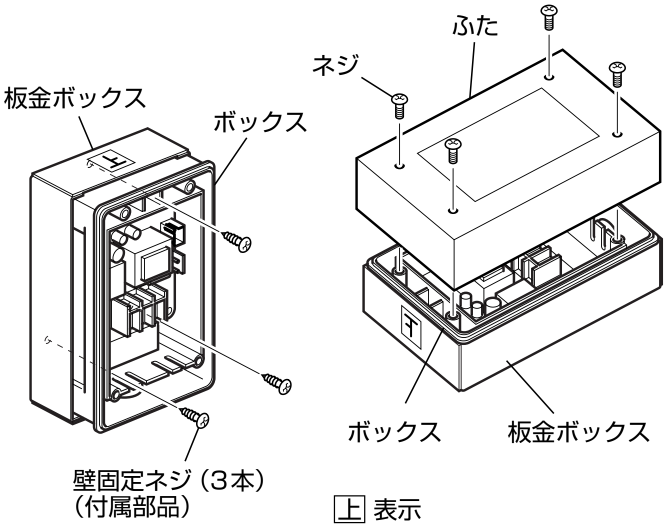
   (1) ふたをする前に確実に結線されているか再度確認する。

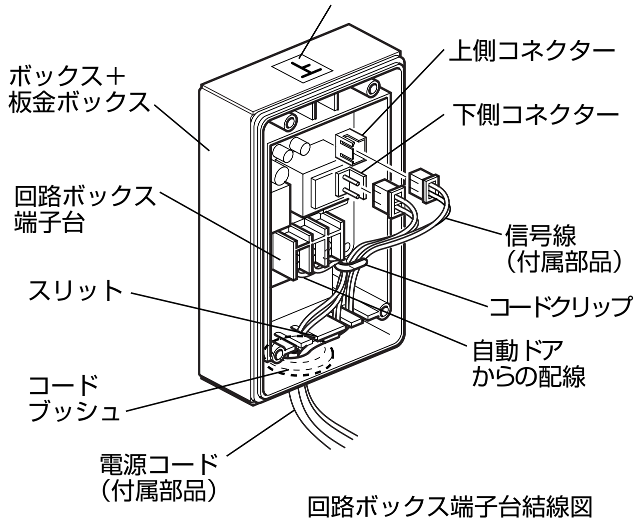
   (2) 取りはずしたネジ４本でボックスにふたを固定する。

6. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込む。

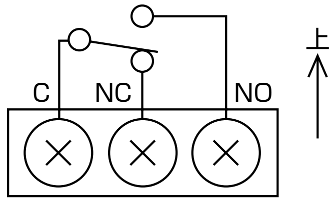
7. 手動スイッチの取付けかた

   手動スイッチは、右記回路図を参考にしてください。

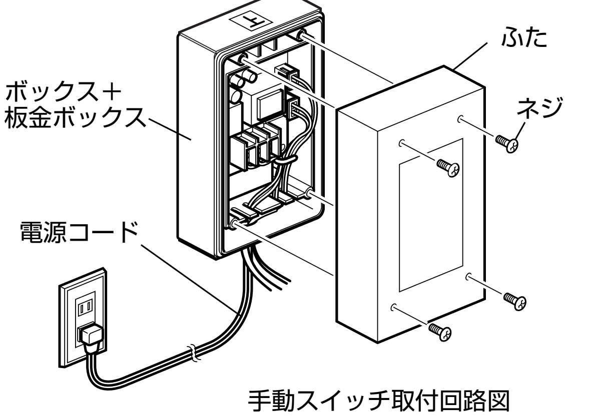




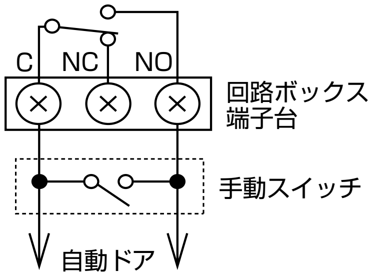
回路ボックス端子台結線図



連動出力端子は無電圧接点出力（1C）です。



手動スイッチ取付回路図



据付方法【ジェットタオルが既設の場合】

一旦はずしてから工事を行います。ここではははずしかたを説明します。

■共通実施項目

1.電源を切る。
（電源プラグを抜く、専用配線の場合は漏電しゃ断器を切る）

2.前パネルをはずす。（図1、図2、図3参照）
(1)ドレンタンク（ドレン皿）を抜く。
(2)エアフィルターをはずす。（JT-KB形）
(3)ネジ2本をはずす。
(4)前パネルをはずす。

3.電源コードが専用配線の場合
(1)速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながらはずす。（図1、図2、図3参照）
(2)ヒータースタンドに専用配線が取付けてある場合は前パネル、保護ネットをはずし、速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながらはずす。（図4参照）
(3)ヒータースタンドの場合、専用配線を固定してあるコードクリップをはずす。（図4参照）

4.ジェットタオルを壁・床からはずす。
※以下は設置方法によって異なりますので該当する項目を参照してください。

■ジェットタオル本体が壁固定の場合

JT-SB形の場合（図1参照）
本体取付ネジ（下側1本）をはずし、ジェットタオルを持って取付板の引掛部からはずす。

JT-WB形の場合（図2参照）
本体取付ネジ（上側・下側の2本）をはずし、ジェットタオルを持って取付板の引掛部からはずす。

JT-KB形の場合（図3参照）
(1)本体取付ネジ（上側1本）をはずし、ジェットタオルを持って取付板の引掛部からはずす。
(2)ジェットタオルが直置きで転倒防止チェーンが取付けてある場合はチェーンをはずす。

図1　JT-SB形

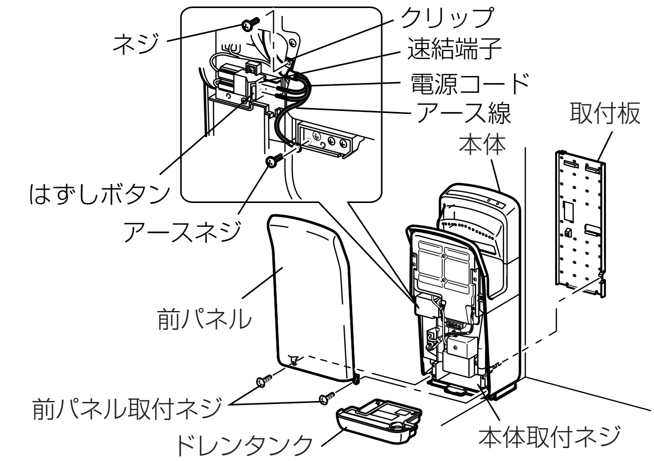


図2　JT-WB形

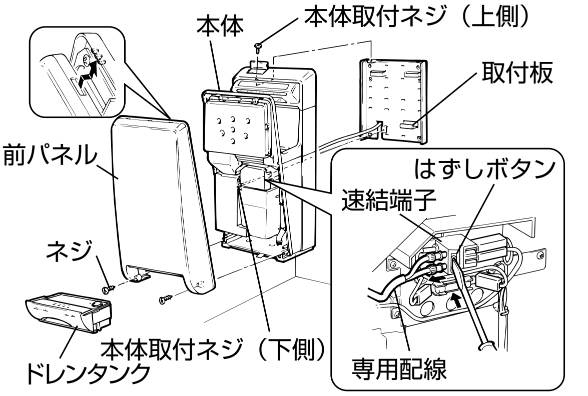


図3　JT-KB形

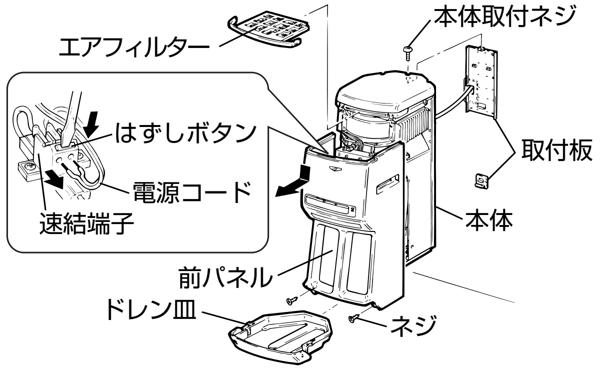
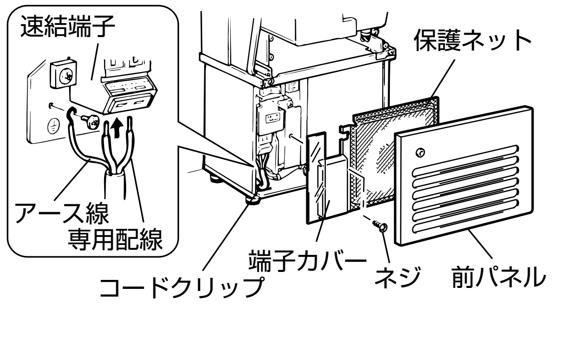
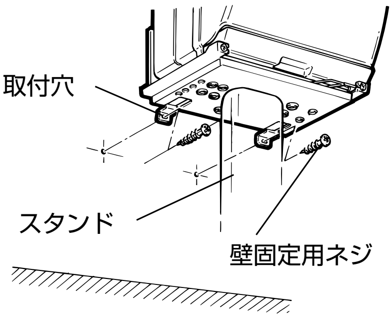


図4　ヒータースタンドが専用配線の場合



■ジェットタオルスタンドが壁固定の場合

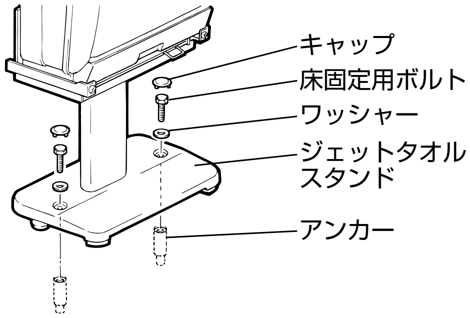
スタンドを固定している壁固定用ネジ（2本）をはずす。



■ジェットタオルスタンドが床固定の場合

(1)スタンドのキャップ（2個）をはずす。

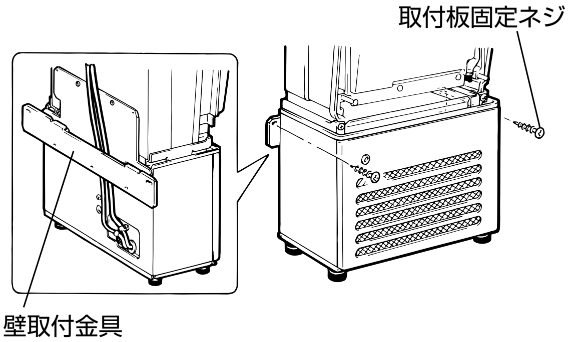
(2)スタンドを固定している床固定用ボルト（2本）・ワッシャー（2個）を埋め込まれているアンカーからはずす。



■ヒータースタンドが壁固定の場合

(1)取付板固定ネジ2本をはずす。

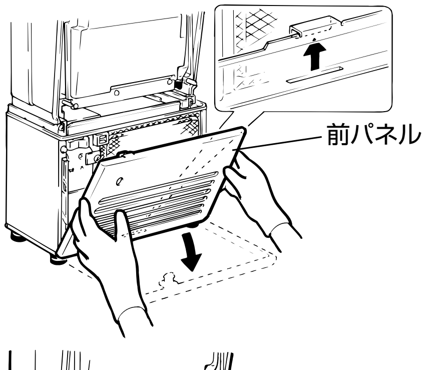
(2)ヒータースタンドにジェットタオルを乗せたまま壁取付金具ごとはずす。



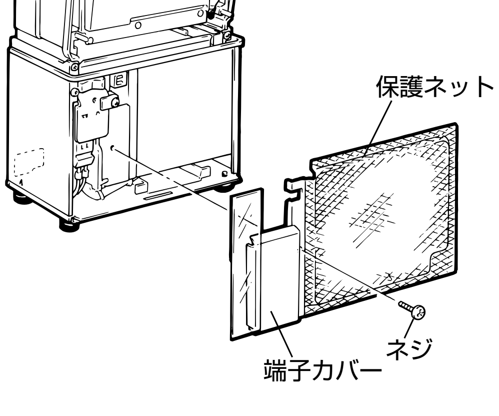
■ヒータースタンドが床固定の場合

(1)前パネルをはずす。

- 側面を持って手前に引き、中央部の引掛部からはずす。



(2)ネジ1本をはずし、保護ネットを取りはずす。

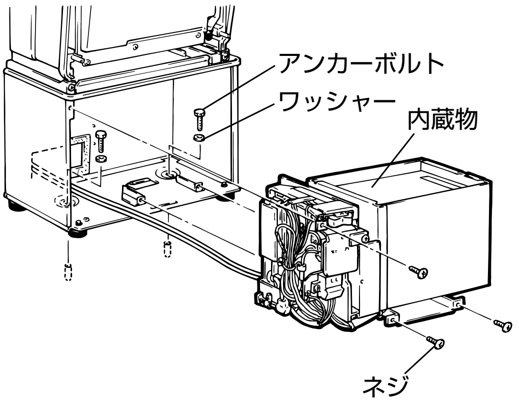


据付方法【ジェットタオルが既設の場合】　つづき

■ヒータースタンドが床固定の場合　つづき

（3）3本のネジをはずし、内蔵物を引き出す。

（4）アンカーボルト（2本）とワッシャーをはずす。

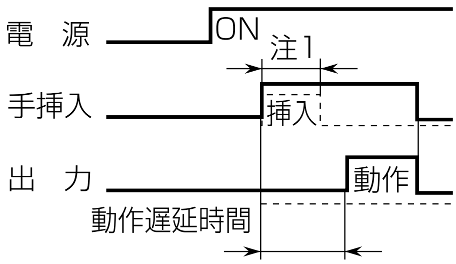


以後、据付方法（P3参照）からの作業を行ってください。

試運転

据付工事が終わりましたら、ジェットタオルの運転・停止を行い、自動ドアが正しく動作するかを確認します。

回路ボックス仕様

動作遅延時間	約2～10秒（調節可、工場出荷時約6秒）
連動出力端子	1c接点（無電圧接点出力）
最大負荷	AC250V 0.2A、DC30V 0.2A
最小負荷	DC5V 10mA
タイムチャート 注１　手の挿入が動作遅延時間より短い場合は、出力は動作いたしません。（点線で示す）	

動作遅延時間を調節する場合は、回路ボックス内の調節ボリュームを回転させて調節してください。〔動作遅延時間の調節は、必ず回路ボックスおよびジェットタオルの電源プラグを抜いて（専用配線の場合は漏電しゃ断器を切って）から行ってください。〕

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508−8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。